

平成27年度は、専門部長として、多久高校の蒲原正憲校長先生を迎え、末次広人(佐賀工)、樋口義朗(多久)、小川高明(鳥栖工)の3人の先生方に、新たに宮川淳(唐津東)を専門委員とし、武末良樹(鳥栖工)が専門委員長として各大会を実施することになりました。

今年度が開催された大会を、時間を追って紹介します。高体連関係では、6月の県総体において金山・井原山・雷山が予定通りに行われました。7月の九州大会においては、福岡県の英彦山山系で開催され、8月の全国大会では、滋賀県高島トレイル・比良山系で開催されました。山岳連盟関係では、4月に九州ブロックジュニア選手権及び国体県予選、7月には熊本での国体九州ブロック予選、10月に和歌山県での国民体育大会、11月には、岸岳・作礼山山系での新人大会、12月には第6回全国高校選抜クライミング選手権が例年通り埼玉県加須市で開催されました。

以下、報告をいたします。

第15回九州ブロックスポーツクライミング選手権

兼平成27年度国民体育大会佐賀県予選

- ・期 日 4月18日(土)
- ・会 場 多久市
多久高等学校
- ・参加校 (男子) 佐賀工 多久高 星生学園
(女子) 多久高
- ・参加者 男子16名 女子2名
- ・カテゴリー 高校生男子、女子

毎年、九州各県で持ち回りでの開催で、高校生だけでなく小中学生も参加できる九州では比較的大きな大会で、今年は佐賀県で行われました。例年4月に国体県予選を開き、その上位者をこの大会に出場させていましたが、自県開催のため佐賀県予選と兼ねて開催しました。男子には長崎・大分・宮崎・鹿児島から、女子は長崎・大分・宮崎から参加し、高校生だけでも男子44名、女子18名の参加となりました。男女とも予選を2本行い、その上位者6名が決勝に進みました。男子は昨年国体に出場した池田侑生(佐賀工3年)くんが順調に力を発揮し、高校の部で予選を1位で通過し、決勝でも1位となりました。中野駿(佐賀工3年)くんは予選3位で通過するが、決勝では4位となりました。女子は、国体3年目となる岸川弓子(多久2年)さん、渡島奈緒(多久2年)さんが力を発揮しましたが、実力が上回る長崎勢に及ばず、予選・決

勝ともに3・4位でした。結果、男子は上記優勝の池田くんと彼を上回る成績をたたき出した鶴本直生(芦刈中3年)くん、女子は岸川さん、渡島さんを選出し、国体九州ブロックの代表と選手としました。

成績(高校の部)

男子	池田 侑生(佐賀工3年)	19	1位/44人
	中野 駿(佐賀工3年)	14+	4位/44人
女子	岸川 弓子(多久高2年)	26+	3位/18人
	渡島 奈緒(多久高2年)	24+	4位/18人

上記は決勝の成績です。

県高校総体

- ・期 日 5月29日(金)～31日(日) (2泊3日)
- ・会 場 佐賀市
金山・井原山・雷山山系
- ・参加校 (男子) 鳥栖工 三養基 佐賀工
多久高 唐津東 佐賀北 (6校)
(女子) 佐賀北 多久高 唐津東 (3校)
- ・参加者 男子57名 女子11名
- ・コース 1日 山中キャンプ場 [開会式]
山中キャンプ場－特区S－縦走競技(特区间)－番所跡(ゴール)－金山(隊行動)－山中キャンプ場 [幕営]
2日 山中キャンプ場－金山四差路－アゴサカ峠－城山－三瀬峠－新村開拓分岐－井原山－古場岳＝北山少年自然の家 [幕営]
3日 北山少年自然の家＝古場岳－井原山－雷山－雷山登山口－古場岳＝富士生涯学習センター [閉会式]

5月29日(金)10時、山中キャンプ場で開会式を行い、式後に全員によるペーパーテスト(登山知識について)を行いました。昼食後、特区スタート地点まで隊行動で縦走し、そこから番所跡まで特区间(チームによるタイムレース)を実施し、金山までパーティ(各校選手のみ)でピストンし、番所跡から隊行動で山中キャンプ場まで下りました。天候は晴れで、男子は佐賀工A、Bチームが抜群の体力を示し、3位以下を大きく引き離しました。女子は唐津東がトップでゴールしました。山中キャンプ場に戻り、装備審査、各校代表による気象審査(天気図作成)・医療審査(ペーパーテストと医薬品装備審査)、幕営

審査、炊事審査が行われ、夜9時には消灯となりました。

30日(土)には、5時に起床し、6時30分集合し、山中キャンプ場から、各隊の隊長が率いて井原山山頂を目指しました。金山四差路、アゴサカ峠、城山を経て、三瀬峠で昼食をとり、新村開拓分岐を超え、井原山頂で、大休憩をとり、ゴール地点である古場岳に到着しました。コースの途中では、読図審査(現在地が地図上でどの位置にあるのかの確認)、審査員による登りでの体力審査、下りでの歩行審査を実施しました。監督の車に乗る前に、装備審査を行い、北山少年自然の家に向かいました。その後雨模様となり、幕営審査を中止し、炊事審査を自然の家の軒先を借りて行い、少年自然の家のピロティにテントを張り、就寝となりました。

31日(日)も、5時に起床し、6時30分に集合し、北山少年自然の家を7時前に出発し、昨日のゴール地点であった古場岳に車で向かい、そこから縦走競技のスタートとなりました。天候もよく、昨日下ってきたコースを逆走し、井原山に登り、雷山を経て、古場岳に戻りました。昨日と同様、読図審査、体力審査、歩行審査を行い、佐賀市立富士生涯学習センターに車で向かい、閉会式を行いました。

男子は、特区で引き離された鳥栖工業が追い込みを見せるも、わずかにおよびず、佐賀工業が4年連続の優勝となり、九州総体、全国総体への切符を、2位は鳥栖工業で九州総体の切符を手に入れました。女子は、4人そろったチームが1校となるが、昨年全国大会を経験した唐津東がそつなく頑張りを見せ、2年連続の優勝となり、九州総体、全国総体への切符を手に入れました。

成績

- 男子 1位 佐賀工(九州・全国大会出場)
- 2位 鳥栖工(九州大会出場)
- 3位 唐津東
- 女子 1位 唐津東(九州・全国大会出場)

第58回全九州高等学校登山競技大会

- ・期 日 7月3日(金)～6日(月)(3泊4日)
- ・会 場 福岡県 英彦山・古処山山系
- ・参加校 男子A隊 7校
- 男子B隊 7校
- 女子C隊 7校
- ・出場校の選手・監督
- 男子A隊 佐賀工：中村 拓斗 北島 侑起

井手 大地 柿原 健太

監督：吉村 優輝

男子B隊 鳥栖工：姉川 大介 田島 翔太
上久保龍宏 大澤 琢巳

監督：小川 高明

女子C隊 唐津東：野崎 茉奈 竹尾 愛
田久保 晶 山下 佳奈

監督：宮川 淳

・コース

- 7/3 開会式(英彦山青年の家)
英彦山青年の家(泊)
- 7/4 青年の家[チーム行動]ーバードラインー
中津宮ー泰幣殿[隊行動]ー玉屋神社ー鬼
杉ー中岳ー北岳ー高住神社ー青年の家
(泊)
- 7/5 青年の家=小石原自然歩道入口ー馬見山
ー宇土浦越ー屏山ー古処山ー八丁峠登山
口=原鶴六峰館(泊)
- 7/6 閉会式(原鶴六峰館)

3日 監督リーダー会議後に開会式があり、その後、自然観察、天気図作成、医療審査、気象知識のペーパーテストが行われ、設営審査・炊事審査が行われました。

4日 登山行動1日目、青年の家をスタートし、泰幣殿までのチーム行動である。チーム行動とは、設定されたコース(青年の家～泰幣殿)を制限時間内に選手4人だけで縦走する競技である。その間に体力・歩行の審査があり、読図ポイントもあるので、先頭を急ぐチーム、中盤あたりで確実な歩きでアタックするチーム、息も絶え絶えで厳しいチームと様々な様子が展開されました。泰幣殿で体制を整え、そこから隊行動でゴール地点である青年の家を目指しました。その間も体力・歩行審査、読図ポイントなどの審査項目を行い、巨大な鬼杉に敬意を表し、中岳に登頂しました。そこで食事休憩となり、高住神社までの下り、青年の家にゴールしました。ゴール後に雨が降り始め、その日は体育館での就寝となりました。

5日 登山行動2日目、バスで小石原自然歩道入口に向かい、そこから馬見山を経て、古処山に向かうコースでした。この日の天候も雨こそ降っていなかったが、霧が立ち込める状態でのスタートでした。馬見山で、読図・体力・歩行などの審査も予定通り行い、審査集計の関係

で、その後は帯同での審査を行わず、選手たちは古処山に向かっていきました。その後も順調に縦走し、八丁峠登山口からバスで宿舎である原鶴六峰館に向かい、旅館での風呂・布団・食事となり、今までの疲れを十分に癒やせました。

6日 10時から、原鶴六峰館で閉会式となりました。男子は、相変わらず長崎勢が強く、長崎北陽台高校が97.7点で優勝しました。佐賀工が93.5点で3位、鳥栖工が89.2点で6位と健闘しました。女子は、大村高校が97.9点で優勝しました。唐津東は、88.0点で3位となりました。

成績

男子 3位 佐賀工 93.5点
6位 鳥栖工 89.2点
女子 3位 唐津東 88.0点

平成27年度国民体育大会九州ブロック予選

・期 日 7月17日(金)～19日(火) (2泊3日)

・会 場 大分県 県立総合体育館

クライミングウォール

・参加県 少年男子 8県

少年女子 8県

・出場校の選手・監督

少年男子 池田 侑己(佐賀工3年)

轟本 直生(芦刈中3年)

監督：武末 良樹(鳥栖工)

少年女子 岸川 弓子(多久高2年)

渡島 奈緒(多久高2年)

監督：樋口 義朗(多久高)

・コース

7/17 監督リーダー会議・開始式

(県立総合体育館)

7/18 ボルダリング競技(雨天のため入替)

7/19 リード競技(雨天のため入替)・表彰式

今年は、少年男子では佐賀県選手として初めて芦刈中学3年の轟本直生くんが出場しました。小学校4年からクライミングを始め、満を持しての出場となりました。昨年国体経験の佐賀工3年の池田侑己くんとペアを組み、国体出場を目指しました。少年女子は、昨年・一昨年と国体に出場した多久高2年の岸川弓子さん・渡島奈緒さ

んのペアが3回目の国体を目指しました。監督リーダー会議後、開始式が行われ、翌日からの競技に備えました。

18日 台風が過ぎた影響で、雨・風が止まず、屋内であるボルダリング競技が行われました。少年男子については、3位までが国体に出場できるのだが、世界を舞台にしている福岡県の選手たちが、危なげない登りで1位を取り、池田・轟本組も懸命にアタックし、2位を確保し、翌日のリード競技に弾みを付けました。少年女子については、2位までが国体出場となる厳しい大会で、昨年国体があった長崎県勢が力を見せつけ、1位通過となり、岸川・渡島組もよく登りましたが、ほんのわずかな差で福岡県にリードされ、悔しい3位スタートとなりました。試合後2人とも、悔し涙を浮かべていたが、監督を中心にトレーナーも含め全員でしっかりフォローを行い、翌日の逆転を誓わせました。

19日 心配された天気も回復に向かい、リード競技が行われました。少年男子は、緊張感がないように見えて緊張していたのか、轟本くん本来の登りがあまり見られなかったが、佐賀工の池田くんが昨年の経験を生かし、落ち着いて競技を行い、昨日と同じく2位を確保し、国体出場を決めました。少年女子は、前日2位の福岡県を逆転すべく、2人とも懸命に登り、岸川さんが長崎県勢の2人と同じく完登し、渡島さんも気合いを見せ、福岡県を僅差で逆転し、国体出場を決めました。結果、少年男子は、2年連続、少年女子は3年連続で10月に和歌山で行われる国体に進みました。

成績

少年男子 池田 侑生(佐賀工3年)

ボルダリング 3位 リード 4位

轟本 直生(芦刈中3年)

ボルダリング 8位 リード 5位

総合2位(国体出場)

少年女子 岸川 弓子(多久高2年)

ボルダリング 3位 リード 1位

渡島 奈緒(多久高2年)

ボルダリング 7位 リード 8位

総合2位(国体出場)

第58回全国高等学校登山競技大会

・期 日 8月7日(金)～11日(火) (4泊5日)

・会 場 滋賀県 高島トレイル(乗鞍岳・大谷山)
比良山系(蛇谷ヶ峰)

- ・参加校 男子A隊 47校(沖縄県除く・開催県2校)
女子B隊 47校(沖縄県除く・開催県2校)

- ・出場校の選手・監督

男子A隊 佐賀工：中村 拓斗 北島 侑輝
井手 大地 田中 大貴
監督：末次 広人

女子B隊 佐賀北：野崎 茉奈 竹尾 愛
田久保 晶 山下 佳那
監督：宮川 淳

- ・コース

- 8/7 開会式(高島市民会館)
マキノ高原キャンプ場高原サイト(泊)
- 8/8 (男女)幕営地=国境高原スノーパーク
…乗鞍岳…黒河峠…明王の禿…赤坂山
…栗柄峠…マキノ高原キャンプ場(泊)
[チーム行動]
- 8/9 (男女)幕営地=黒谷-畑-横谷峠-蛇
谷ヶ峰-グリーンパーク思い出の森=
巻甲高原キャンプ場(泊)[隊行動]
- 8/10 (男女)幕営地=ビラデスト今津-近
江坂分岐-抜土-大谷山-寒風-マキ
ノ高原キャンプ場=各宿舎(泊)[チー
ム・パーティ行動]
- 8/11 閉会式(高島市民会館)

6日 12:30~専門委員長会議

15:30~監督リーダー会議

今年は、日本最大の湖、琵琶湖を擁する滋賀県を舞台に全国大会があり、専門委員長として参加しました。マキノ土に学ぶ里研修センターで専門委員長会議に出席し、監督リーダー会議を眺めながら、翌日からの登山行動に備えました。

7日 高島市民会館で10時より開会式が行われました。登山隊編成後、自然観察、医療審査、気象知識のペーパーテストが高島市民会館で、天気図作成が今津東コミュニティセンターで行われました。各隊でコース隊が編成され、バスで幕営地に移動後、設営審査・炊事審査が行われました。

8日 登山行動1日目で、天候は曇りで、男女とも国境高原スノーパークにバスで向かい、そこから乗鞍岳・赤坂山を経て、幕営地であるマキノ高原キャンプ場までチーム行動で縦走するコースである。これまでも選手だ

けで行動するチーム行動はありましたが、1日のすべてで行うことは初めてで、今後の大会に大きな波紋を残す大会となりました。男子が先行し、途中のチェックポイントで大会役員が各校をチェックし、その中で審査員が審査する方式でありました。黒河峠は選手たちの第2チェックポイントで、専門委員長は選手たちに合流し、各県、各地域の選手たちを激励し、監督隊の後からマキノ高原キャンプ場に向かいました。佐賀工も唐津東も元気に通過していきました。

9日 登山行動2日目で、黒谷から蛇谷ヶ峰を経て、グリーンパーク思い出の森までの隊行動である。この日も男子が先行する形をとりました。下見で唐津東と歩いたときは、蛇谷ヶ峰までダラダラと登りが続くコースで、選手たちは厳しい表情を浮かべていたが、専門委員長たちが別コースから蛇谷ヶ峰に登り、選手たちを激励したときは、2校ともしっかりと足取りでした。

10日 登山行動最終日は、男女ともビラデスト今津から大谷山を経て、マキノ高原キャンプ場に向かうコースである。抜土まで選手だけのチーム行動で、そこから監督を交えたパーティ行動でマキノ高原キャンプ場に向かいました。この日も専門委員長たちは別コースで縦走路に入り、途中から選手たちと合流し、合流地点では各県の委員長は代わる代わる監督選手たちを写真に収め、審査員も同行していなかったため各県選手たちにまじってゴール地点まで下っていました。ゴール後、解散式を行い、それぞれの宿舎に戻りました。

11日10:00閉会式

A隊の優勝は、長崎県の長崎北陽台高校で99.0点でした。佐賀工が95.5点と昨年を上回る健闘で、19位となりました。B隊の優勝は、静岡県富士宮西高校で99.4点でした。唐津東も頑張り、84.4点で、昨年を上回る35位となりました。

成績

男子 19位 佐賀工業 95.5点
女子 35位 佐賀北 84.4点

平成27年度国民体育大会

- ・期 日 10月2日(金)~5日(月)(3泊4日)
- ・会 場 和歌山県 県立南部高等学校(リード)
みなべ町立南部小学校体育館
特設会場(ボルダリング)
- ・参加県 少年男子16県
少年女子16県

・出場校の選手・監督

少年男子 池田 侑己(佐賀工3年)
 蘆本 直生(芦刈中3年)
監督：武末 良樹(鳥栖工)
少年女子 岸川 弓子(多久高2年)
 渡島 奈緒(多久高2年)
監督：樋口 義朗(多久高)

・コース

10/2 監督会議(紀州南部ロイヤルホテル)
10/3 少年男子 リード予選
 リード決勝
 少年女子 リード予選
10/4 少年男子 ボルダリング予選
 少年女子 ボルダリング予選
10/5 少年男子 ボルダリング決勝
 少年女子 リード決勝
 ボルダリング決勝

今年は、少年男子は2年連続、少年女子は3年連続の国体となりました。少年男子は芦刈中3年生の蘆本直生くん・佐賀工3年の池田侑己くんのペア、少年女子は3年連続で多久高2年の岸川弓子さん・渡島奈緒さんのペアが出演し、監督会議後、翌日からの競技に備えました。

3日 少年男子は、福岡県をはじめ全国の名だたるクライマーたちが集う16組が、午前中のリード予選が挑みました。多少の緊張感があるものの池田・蘆本ペアが懸命に登り、7位を勝ち取り、決勝に進みました。少年男子としては久しぶりに決勝に進出するも、全国の壁は厚く、決勝でも7位となりました。少年女子も、全国のクライマーたちの力は強大で、岸川・渡島ペアの得意のリードで決勝進出を目指すも、予選14位と力振るいませんでした。

4日 少年男子も少年女子もこの日も予選を通らなければ、最終日(5日)の試合は、悔しい観戦にとどまるので、4人とも気迫あふれる様子でした。少年男子は、まだ成長期である蘆本くんには、厳しい課題が続いたが、少しずつポイントを重ね、経験豊かな池田が懸命にアタックし、総合7位で、翌日の決勝に駒を進めました。少年女子も前日の悔しさを胸に、岸川・渡島もあきらめずトライを重ね、多少苦手とするボルダリングで佐賀県史上初めて女子(成年・少年含む)が決勝進出を果たす快挙を演じてくれました。

5日 晴れて男女ともボルダリングの決勝に残ったわけだが、全国の壁は本当に厚く、男女とも健闘するものの8位となり、全国との力の差をマジマジと見せつけられた大会となりました。しかし、今回は少年男女の活躍もあり、成年男子の成績(リード2位、ボルダリング5位)と併せて、天皇杯で8位と入賞を果たし、佐賀国体に向けての今後の強化への参考となりました。

成績

少年男子 池田 侑生(佐賀工3年)
 蘆本 直生(芦刈中3年)
 リード予選 7位 決勝 7位
 ボルダリング予選 7位 決勝 8位
少年女子 岸川 弓子(多久高2年)
 渡島 奈緒(多久高2年)
 リード 14位
 ボルダリング予選 8位 決勝 8位

第6回全国高等学校選抜クライミング選手権大会

佐賀県予選会

- ・期 日 10月25日(日)
- ・会 場 多久市
 多久高校クライミングウォール
- ・参加校 (男子) 鳥栖工 佐賀工 多久
 星生学園(4校)
 (女子) 多久(1校)
- ・参加者 男子48名 女子2名 計50名
- ・カテゴリー エキスパート リード1ルート
 ミドル リード1ルート

高体連共催になっている第6回全国高校生選抜クライミング選手権大会の予選を兼ねているため、男子については佐賀工の3年生が3名参加し、総勢48名で、女子については多久の2名が参加し、大会が行われました。予定通り全国大会につながるエキスパートクラスと、競技を浸透させるためのミドルクラスを開催しました。エキスパートクラスには、男子は、日ごろから積極的に練習している佐賀工業の選手に加え星生学園の選手が2名参加し、女子は国体で活躍している多久の選手が出演し、ミドルクラスには、佐賀工業の下級生と多久・鳥栖工業の男子選手が出演しました。エキスパートクラスでは、国体選手となった池田侑己(佐賀工3年)くんが優勝し、2位には中野駿(佐賀工3年)くんが、3位には中武凌雅(星

生学1年)くんが入りました。ミドルクラスでは、中尾洗太郎(佐賀工2年)くんが優勝しました。女子については、2人のみの参加となったが、国体選手の福島弓子(多久高2年)さんが順調に力を発揮し優勝し、2位には渡島奈緒(多久高2年)さんが入りました。結果、男子は、和歌山国体で決勝進出した池田くんが日山協推薦で、2位・3位になった中野くん・中武くんが県岳連推薦で、女子は和歌山国体で決勝進出した岸川さん・渡島さんが12月に行われる全国大会の切符を手に入れました。

成績

男子	E 1位	池田 侑己(佐賀工3年)
	E 2位	中野 駿(佐賀工3年)
	E 3位	中武 凌雅(星生学1年)
	M 1位	中尾 洗太郎(佐賀工3年)
	M 2位	北島 侑起(佐賀工3年)
	M 3位	中村 拓斗(佐賀工3年)
女子	1位	岸川 弓子(多久高2年)
	2位	渡島 奈緒(多久高2年)

新人大会

- ・期 日 11月14日(土)・15日(日) (1泊2日)
- ・会 場 唐津市
岸岳・作礼山山系
- ・参加校 (男子) 鳥栖工 佐賀工
唐津東 多久(4校)
(女子) 佐賀北 唐津東(2校)
- ・参加者 男子40名 女子5名 計45名
- ・コース 14日 岸岳ふれあい館[開会式]
縦走競技: 岸岳ふれあい館-岸岳-
岸岳ふれあい館=旧佐里小学校
ペーパーテスト、医療審査、天気図審査
炊事審査等(旧佐里小学校)[幕営]
15日 縦走競技: 旧佐里小学校=千束バス
停-白木木場登山口-作礼山-旧平之小学
校
旧平之小学校グラウンド 設営審査
旧平之小学校[閉会式]

14日 最近の新人大会は雨にいつもたたられ、この日も天候が悪い中での開会式となりました。岸岳ふれあい館に集合し、予定ではふれあい館で開会式後に、ペーパーテストを行い、昼食後、岸岳を集会するコースでし

たが、前日からの雨で、コース場の急登地点で、滑ることも予想されたので、ペーパーテストを後に回し、岸岳をピストンするコースに変更されました。何とか天候も持ち、体力・歩行・読図審査を行い、ふれあい館に到着後、装備審査を行いました。旧佐里小学校に移動後、ペーパーテストを行い、医療・天気図と審査を続けました。雨が止むこともなく、その日の設営審査は、実施せず、旧佐里小学校内で炊事を行い、校内での就寝となりました。

15日 翌日は霧が立ちこめる中、千束バス停に向かい、縦走が始まりました。審査員が体力・歩行審査を行う中、天候も回復に向かい、読図審査も行いながら、作礼山頂に到着し、作礼山キャンプ場で装備審査を行い、旧平之小学校に向かいました。旧平之小学校では、一部の審査員が成績を入力しつつ、別の審査員が昨日できなかった設営審査をグラウンドで行い、閉会式を迎えました。男子では、佐賀工Aと鳥栖工Aが優勝争いを繰り広げ、自力に勝る佐賀工Aが優勝しました。女子は、再び人数が落ち込み、唐津東が3人をそろえて2連覇となりました。

総合成績

男子	1位	佐賀工A
	2位	鳥栖工A
	3位	佐賀工B
女子	1位	唐津東A

第6回全国高等学校選抜クライミング選手権大会

- ・期 日 12月23日(火)・24日(水)
- ・会 場 埼玉県加須市
加須市民体育館
- ・参 加 校 (男子) 佐賀工 星生学園
(女子) 多久
- ・参 加 者 男子3名 女子2名
- ・カテゴリー 高校生男子左右2ルート

高体連共催になり、11月のクライミング選手権の成績をもとに、佐賀県から男女5名の選手が参加しました。

男子は、国体に出場している池田侑己(佐賀工3年)くんを期待したが、国体以来あまり練習ができていなかったこともあり、力が発揮されず、予選ルートで敗退し、中野(佐賀工3年)くん・中武(星生学1年)くんも力及ば

ず同じく予選ルートで敗退となりました。昨年に引き続き、全国の壁を厚く感じました。

女子は、国体ボルダリング決勝進出の原動力となった岸川弓子(多久高2年)さんが、準決勝まで進み、渡島奈緒(多久高2年)さんはわずかな差(あと1手)で準決勝進出を逃したが、団体で4位の成績を勝ち取りました。今後に期待できる大会となりました。

成績

男子 中武 凌雅(星生学1年)

Aルート 22 Bルート 19 37位/109人

池田 侑己(佐賀工3年)

Aルート 18 Bルート 24+ 41位/109人

中野 駿(佐賀工3年)

Aルート 18+ Bルート 17+ 45位/109人

団体(佐賀工2名の成績による団体戦)

8位/27校

女子 岸川 弓子(多久高2年)

Aルート 24+ Bルート 25.5+ 23位/73人

準決勝 19+ 20位/26人

渡島 奈緒(多久高2年)

Aルート 23 Bルート 25.5+ 29位/73人

団体(多久高2名の成績による団体戦)

4位/21校

平成27年度佐賀県高等学校総合体育大会登山大会自然観察課題

1 次の文中の(①)～(⑳)に入る適切な語句を答えなさい。【0.5×20】

今大会は、(①)市の背振山系において開催される。2万5千分の1地形図の名称は、「雷山」と「(②)」である。背振山系は佐賀県と福岡県の県境に連なり、東は標高404.3mの(③)から、西は535.2mの(④)まで、全長約70キロに及ぶ九州でも最長のロングトレイルである。金山は福岡県福岡市(⑤)区、雷山は福岡県(⑥)市にそれぞれ面している。

1日目は、(⑦)キャンプ場で開始式が行われ、その後ペーパーテスト、昼食の後、特区スタート地点に移動し、特区が行われる。スタート地点を出発した後、金山東登山口から(⑧)コースを経て、九州自然歩道に出会い、番所跡のゴール地点を目指す。その後、パーティー行動で標高(⑨)mの金山山頂を往復する。番所跡からは、隊行動で金山四差路から(⑩)コースを経て、(⑦)キャンプ場へ戻り、設営、天気図などの審査を行う。番所跡には江戸時代に(⑪)藩の番所があったと伝えられており、一名熊ヶ城とも言われている。また、背振山系が花崗岩の地質から成り立っている中で、金山付近は(⑫)の層が出ており、古生代(約3億年前)には、海の底であったことを示している。金山までの縦走路にはブナを中心とした温帯落葉樹林が続いており、林床は一面を(⑬)ザサがおおっている。

2日目は、(⑭)時に起床し、6時30分に集合した後、隊行動での縦走が始まる。(⑮)橋を経て金山四差路へ向かい、そこから西へ進む。(⑯)峠を経て、846.1mの(⑰)を超え、三瀬峠へ向かう。昼食休憩の後、新村開拓分岐を経て、標高980.0mの井原山に到着する。井原山付近の縦走路には5月の上旬にはピンクの花をつけたコバノ(⑱)が咲き誇り多くの登山者が訪れる。また、福岡県側の斜面の水無鍾乳洞付近には、多良岳や八幡岳でも見られるようなオオ(⑲)の群生地があり、7月下旬から8月上旬にかけてオレンジ色の花を一斉に開花する。井原山で展望を楽しんだ後、ゴールの古場岳へ下山する。そこから車移動で北山少年の家キャンプ場へ向かい、幕営となる。

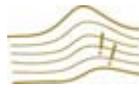
3日目は7時に北山少年の家キャンプ場を出発し、古場岳から隊行動で井原山へ登り、そこから標高(⑳)mの雷山へ向けて縦走路を進む。雷山山頂から西に目を向けると、電波時計用の信号を送信している高さ約200mのアンテナが立つ(㉑)山を望むことができる。雷山を下山し雷山登山口を経由してゴールの古場岳へ向かう。閉会式は佐賀市立富士生涯学習センター(フォレストふじ)で行われる。

2 次の問いに答えなさい。【0.5×8】

(1) 次の地名の読みを書きなさい。

- ① 脚気地蔵 ② 下合瀬 ③ 神水川

(2) 次の地図記号の名称を答えなさい。

- ①  ②  ③  ④ 

(3) 大会地図で雷山から井原山までの直線距離は10.5cmだった。実際の直線距離は何mか。

3 次の文中の (①) ~ (⑫) に入る語句を下の語群から選び、記号で答えなさい。【0.5×12】

- (1) (①) 前線は、寒気団と暖気団の勢力が同じくらいであって移動しにくい前線を言う。6～7月にできる梅雨前線が代表的であり、梅雨前線は北の (②) 気団と南の (③) 気団との力の釣り合いによって日本付近に形成され、前線上を小さな (④) が西から東に移動し悪天をもたらす。
- (2) 梅雨が明けて (③) が優勢となり、(⑤) が広く日本を覆うと蒸し暑く晴れた日が続く。午後になると暖められた空気が尾根に向かって (⑥) し、山の上空に局地的な小さな (④) を発生させる。この小さな (④) は通称かみなり雲とも言われる (⑦) 雲を形成し、夕立となって雨を降らせることがある。
- (3) (⑧) 前線は寒気団の勢力が強く、暖気団の下にもぐり込んで暖気団を押し上げながら進み急激な上昇気流となって (⑦) 雲を発生させ雨を降らせる。一般的に低気圧の (⑨) に伸び、移動速度が (⑩) 、雷や突風をともなうこともあり、登山中はその動きに注意が特に必要である。
- (4) 佐賀市のアメダス (標高6 m) における気温が27℃である時、980 mの井原山山頂の気温は気温減率のみを根拠に計算すると (⑪) ℃となる。また、山頂では風がやや強く風速9 m/秒だったとすると、「リンケの式」では体感温度は (⑫) ℃となる。

ア：温暖	イ：寒冷	ウ：閉塞	エ：停滞	オ：低気圧	カ：高気圧
キ：遅く	ク：速く	ケ：南東	コ：南西	サ：上昇	シ：下降
ス：積乱	セ：巻層	ソ：シベリア	タ：オホーツク海	チ：小笠原	
ツ：赤道	テ：8	ト：11	ナ：17	ニ：20	ヌ：25

平成27年度佐賀県高等学校総合体育大会登山大会自然観察課題 解答用紙

1 【0.5×20】

① 佐賀	② 背振山	③ 基山	④ 十坊山
⑤ 早良	⑥ 糸島	⑦ 山中	⑧ 小切
⑨ 9 6 7 . 2	⑩ 鍋島 (佐賀)	⑪ 結晶片岩	⑫ ミヤコ
⑬ 5	⑭ 洞明	⑮ アゴサカ	⑯ 城山
⑰ ミツバツツジ	⑱ キツネノカミソリ	⑲ 9 5 5 . 3	⑳ 羽金

2 【0.5×8】

(1) ① かけじぞう	② しもおおせ	③ しおひがわ	
(2) ① 神社	② 荒地	③ 竹林	④ 雨裂
(3) 2 6 2 5			

3 【0.5×12】

① エ	② タ	③ チ	④ オ
⑤ カ	⑥ サ	⑦ ス	⑧ イ
⑨ コ	⑩ ク	⑪ ニ	⑫ テ

パーティ名	学校名	氏名	得点

平成27年度佐賀県高等学校総合体育大会登山大会自然観察課題 解答用紙

1 【0.5×20】

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮	⑯
⑰	⑱	⑲	⑳

2 【0.5×8】

(1)	①	②	③	
(2)	①	②	③	④
(3)				

3 【0.5×12】

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫

パーティ名	学校名	氏名	得点

平成27年度佐賀県高等学校総合体育大会登山競技 救急課題(解答例)

パーティ名	学校名	氏名	得点

1. 次の文章を読んで、文中の()に適する語句・数値を下から選び、記号で答えよ。【0.1×5】

九州の夏山においても、汗や雨によって身体が濡れると熱が奪われて低体温症に陥る可能性がある。低体温症とは身体の中核部体温が(①)℃以下になった状態で、(②)量より(③)量が多いと、低体温化が進む。ふるえは寒さに対して(②)で対応している証である。体温が(④)℃以下であると危険な状態である。疲労状態であったり、空腹状態であると症状の進行が(⑤)。

ア：28	イ：32	ウ：35	エ：産熱	オ：放熱	カ：速い	キ：遅い
------	------	------	------	------	------	------

①	②	③	④	⑤
ウ	エ	オ	イ	カ

2. 次の文章を読んで、文中の()に適する語句・数値を下から選び、記号で答えよ。【0.1×10】

体重の(①)%以上の水分を失うと、運動機能の低下、血圧の(②)、心拍数が(③)するなどの症状が現れ始め、さらに脱水すると熱中症の危険性が高くなる。喉の渇きに任せて飲むだけでは平均で必要量の約(④)%しか飲まないのが、意識的に飲むようにするのがよい。夏場は(⑤)ものの方が胃腸を活発にして吸収を促進しやすいが、あまり(⑥)ものは胃に長く残り、吸収を遅くする。お茶は水分補給の飲料として(⑦)。山の場合、症状として把握された時には重篤な症状へ移行することが多い。軽症の段階の処置として涼しい場所に移動させ、体温を下げるとともに仰向けに寝かせて(⑧)よりも20~30cmほど高くし、(⑨)を含む水を摂取させることを最優先しなければならない。回復しない場合は首の下、脇の下、鼠径部などの(⑩)血管を水や濡れタオルで冷やし、一刻も早い救助を要請する。

ア：2	イ：5	ウ：30	エ：50	オ：上昇	カ：低下
キ：冷たい	ク：温かい	ケ：甘い	コ：辛い	サ：最適である	シ：適さない
ス：足を頭	セ：頭を足	ソ：塩分	タ：鉄分	チ：細い	ツ：太い

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
ア	カ	オ	エ	キ	ケ	シ	ス	ソ	ツ

3. 次の記述について 正しいものには○を間違っているものには×を()に書きなさい。【0.1×5】

- (○) 傷口に異物が深く刺さった場合は、原則として取り除かない。
- (×) 熱傷の場合はできればきれいな流水で患部を冷やし、水疱があれば滅菌した針で水を抜く。
- (○) ダニに咬まれた場合、ライターなどの火をあてるとダニが深く食い込むことがある。
- (×) 落石などで手足に打撲を負った場合、患部を心臓より低い位置にし、血流量を少しでも多くして患部の回復をはかる。
- (○) 圧迫法は止血の基本的な方法であり、出血している傷口を清潔な布などで、直接上から15分以上圧迫する。

4. 次にあげる医薬品を出しなさい。【1×3】

消毒薬 (有効期限内) 鎮痛 (解熱) 剤 (2人2日分) 体温計 (切れていない)
 () () ()

平成27年度佐賀県高等学校総合体育大会登山競技 救急課題

パーティ名	学校名	氏名	得点

1. 次の文章を読んで、文中の（ ）に適する語句・数値を下から選び、記号で答えよ。【0.1×5】

九州の夏山においても、汗や雨によって身体が濡れると熱が奪われて低体温症に陥る可能性がある。低体温症とは身体の中核部体温が（ ① ）℃以下になった状態で、（ ② ）量より（ ③ ）量が多いと、低体温化が進む。ふるえは寒さに対して（ ② ）で対応している証である。体温が（ ④ ）℃以下であると危険な状態である。疲労状態であったり、空腹状態であると症状の進行が（ ⑤ ）。

ア：28	イ：32	ウ：35	エ：産熱	オ：放熱	カ：速い	キ：遅い
------	------	------	------	------	------	------

①	②	③	④	⑤

2. 次の文章を読んで、文中の（ ）に適する語句・数値を下から選び、記号で答えよ。【0.1×10】

体重の（ ① ）%以上の水分を失うと、運動機能の低下、血圧の（ ② ）、心拍数が（ ③ ）するなどの症状が現れ始め、さらに脱水すると熱中症の危険性が高くなる。喉の渇きに任せて飲むだけでは平均で必要量の約（ ④ ）%しか飲まないの、意識的に飲むようにするのがよい。夏場は（ ⑤ ）ものの方が胃腸を活発にして吸収を促進しやすいが、あまり（ ⑥ ）ものは胃に長く残り、吸収を遅くする。お茶は水分補給の飲料として（ ⑦ ）。山の場合、症状として把握された時には重篤な症状へ移行することが多い。軽症の段階の処置として涼しい場所に移動させ、体温を下げるとともに仰向けに寝かせて（ ⑧ ）よりも20～30cmほど高くし、（ ⑨ ）を含む水を摂取させることを最優先しなければならない。回復しない場合は首の下、脇の下、鼠径部などの（ ⑩ ）血管を水や濡れタオルで冷やし、一刻も早い救助を要請する。

ア：2	イ：5	ウ：30	エ：50	オ：上昇	カ：低下
キ：冷たい	ク：温かい	ケ：甘い	コ：辛い	サ：最適である	シ：適さない
ス：足を頭	セ：頭を足	ソ：塩分	タ：鉄分	チ：細い	ツ：太い

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

3. 次の記述について 正しいものには○を間違っているものには×を（ ）に書きなさい。【0.1×5】

- () 傷口に異物が深く刺さった場合は、原則として取り除かない。
- () 熱傷の場合はできればきれいな流水で患部を冷やし、水疱があれば滅菌した針で水を抜く。
- () ダニに咬まれた場合、ライターなどの火をあてるとダニが深く食い込むことがある。
- () 落石などで手足に打撲を負った場合、患部を心臓より低い位置にし、血流量を少しでも多くして患部の回復をはかる。
- () 圧迫法は止血の基本的な方法であり、出血している傷口を清潔な布などで、直接上から15分以上圧迫する。

4. 次にあげる医薬品を出しなさい。【1×3】

消毒薬（有効期限内）	鎮痛（解熱）剤（2人2日分）	体温計（切れていない）
()	()	()

平成27年度 佐賀県高等学校総合体育大会登山大会審査集計表

大会山域 金山・井原山・雷山山系

日 程 平成27年5月29日～5月31日

	縦 走					天気図	装備	計画書	記録	学科	設営 撤収	救急法	炊事	マ+	総合計	順位	備 考
	特 区		2日目	3日目	読図												
	時間点	完歩点															
	15	2	12	6	10												
A 1	0	2	11.5	5.7	3.75	5.1	4	5	1.5	5.05	3.6	2.70	5	5	59.900	3	唐東A
A 2	8	2	12	6	6.25	8.5	6	5	4.5	6.35	6	4.70	5	5	85.300	2	鳥工A
A 3	0	2	11	5.4	3.125	6	4.5	2	1.75	1.90	3.6	3.60	4	5	53.875		
A 4	15	2	11.5	5.7	8.125	9.1	6	4	4.5	5.25	5.1	4.50	5	5	90.775	1	佐工A
A 5	8	2	12	6	4.375	7.7	6	5	4	5.35	6	4.40	5	5	80.825		
A 6	0	2	0	0	0	0	1.5	1.5	0	2.15	0.6	0.00	0	1	8.750		
A 7	13	2	11.2	6	6.875	7.9	5	4	4.5	4.80	4.8	3.90	5	4.5	83.475		
B 1	0	2	8.8	5.5	1.875	0.2	1.5	1.5	1	1.72	1.2	4.10	4	4.5	37.895		
B 2	0	2	11.5	5.5	6.25	4.3	3.5	4	2.5	3.70	3.6	1.40	4	3.5	55.750		
B 3	0	2	10.2	5.5	3.125	5.4	5.25	4	3.5	2.73	5.4	2.20	5	2.5	56.805		
B 4																	
B 5	5	2	12	5.7	4.375	6.9	5.75	5	3.5	5.20	6	4.30	5	5	75.725		
B 6	4	2	12	6	8.125	7.8	5.25	4	3.5	4.35	6	4.70	5	3.5	76.225		
B 7	0	2	11.7	6	6.875	9.1	5.5	4.5	2.25	4.93	5.4	4.40	5	5	72.655		
B 8	5	2	12	6	3.125	5.4	2.75	1.5	2.5	4.00	3	4.40	3	5	59.675		
B 9	0	2	1	4.2	1.25	0.2	0.5	4.5	1	4.32	0.6	3.40	2	4.5	29.470		
C 1	15	2	12	6	7.5	7.1	6	5	3.5	5.30	5.4	4.40	5	5	89.200	1	唐東A
C 2	0	2	7.5	4	2.5	2.7	2.5	1.5	2	4.60	2.4	4.40	4	5	45.100		
C 3	0	2	7.7	4	1.875	0.2	0	2	2	1.70	3	3.30	4	5	36.775		
C 4	0	2	7	4.7	2.5	2.8	1.5	5	1	4.33	0.6	4.60	3	5	44.030		

優勝 男子 佐賀工業高等学校
4年連続10回目

女子 唐津東高等学校
2年連続2回目

平成27年度佐賀県高体連登山専門部新人大会：自然観察課題

1 次の文中の(①)～(⑭)に入る適切な語句・数字を答えなさい。【0.5×14】

今大会は、(①)市北波多、相知、巖木を会場地として開催される。2万5千分の1地形図の名称は、「(②)」と「相知」である。

1日目は、岸岳ふれあい館で開始式が行われ、その後ペーパーテスト、昼食の後、縦走が始まる。岸岳ふれあい館を出発し、岸岳登山口へ向かう。登山口から最高地点の(③)mまで一気に登り、細長い頂上尾根の山城の遺跡の中を進む。岸岳城はかつては(④)氏の居城で朝鮮出兵時の豊臣秀吉によって廃城に追い込まれたと伝えられている。(⑤)mの三角点を過ぎ下山し、岸岳ふれあい館に戻ってくる。下山後は車移動で、旧(⑥)小学校グラウンドへ移動し、天気図、設営、医療、炊事の審査などが行われる。

2日目は、(⑦)時に起床し、旧(⑥)小学校グラウンドから(⑧)バス停までは、車で移動する。ここから縦走の開始である。白木古場登山口を経て、作礼山に向かう。標高差600m以上の急登を登り詰めると、(⑨)mの三角点のある作礼山(⑩)峰にたどり着く。作礼山山頂にはキャンプ場があり、ほとりの池には日本料理の食材としても利用され、池の名称にもなっている(⑪)が自生している。また、池の中央の歩道には食虫植物の(⑫)ゴケの群生地がある。(⑬)峰にある作礼権現を拝観した後、旧(⑭)分校に下り閉会式を迎える。

2 次の問いに答えなさい。【0.5×12】

(1) 次の地名の読みを書きなさい。

①白木古場 ②巖木 ③長部田

(2) 次の地図記号の名称を答えなさい。

①  ②  ③  ④ 

(3) 次の日本天気記号の名称を答えなさい。

①  ②  ③  ④ 

(4) 大会地図で白木古場登山口から作礼山(東峯)までの直線距離は約7cmだった。実際の直線距離は約何mか。

3 気象についての説明で、下線部の語句で正しいものを選び、記号で答えなさい。【0.5×10】

(1) シベリア気団は、①(ア 梅雨期 イ 夏季 ウ 冬季)にしばしば現れ、日本に②(ア 暖気 イ 寒気)を運んでくる。大陸奥地で育った③(ア 暖かく イ 冷たく)乾いた空気であるが、日本にやってくる時、比較的暖かい日本海で水蒸気の補給を受けるので雲ができ、日本海側の地方や山岳に④(ア 大雨 イ 雪)を降らせたりする

(2) 高気圧とは気圧の絶対値で決まるのではなく、周囲との相対的なもので気圧の高い部分が高気圧となる。北半球ではその中心より⑤(ア 上昇 イ 下降)気流となって⑥(ア 右 イ 左)回りに風が吹き出し、雲が発生しないので天気がよい。低気圧も高気圧と同じように周囲との相対的な気圧で決まる。北半球ではその中心に向かって⑦(ア 右 イ 左)回りに吹き込み、⑧(ア 上昇 イ 下降)気流となって雲が発生するため天気が悪い。

(3) 温暖前線と寒冷前線をともなった低気圧が進むにつれ、速度の速い寒冷前線が温暖前線に追いつくと、寒冷前線は追い越すように温暖前線の下にもぐり込むので、温暖前線は押し上げられて上空に残り、温暖前線と寒冷前線が重なり合ったかっこうになる。このようになった前線を⑨(ア 停滞 イ 閉塞)前線といい、その低気圧は⑩(ア さらに発達する イ 衰退に向かう)。

4 次の記述で正しいものは○、間違っているものは×を記入しなさい。【0.5×4】

(1) 縦走とは、山岳地域を走り抜け、所要時間を競う競技である。

(2) 非常食とは、非常時に備えて常に携行するもので、調理しなくても食べられる食料である。

(3) 先日、脊振山で熊の目撃情報があった。環境省のレッドリストではツキノワグマは九州では絶滅危惧種であり、手厚く保護されている。

(4) 来年、平成28年度より、8月11日は「山の日」に制定され、8月初の国民の祝日となる。

平成27年度佐賀県高体連登山専門部新人登山大会：自然観察課題 解答用紙

1 【0.5×14】

① 唐津	② 徳須恵	③ 320	④ 波多
⑤ 270.1	⑥ 佐里	⑦ 5	⑧ 千束
⑨ 887.1	⑩ 西	⑪ じゅんさい	⑫ モウセン
⑬ 東	⑭ 平之		

2 【0.5×12】

(1) ① しらきこぼ	② きゅうらぎ	③ ながへた	
(2) ① 城跡	② 果樹園	③ 老人ホーム	④ 荒地
(4) ① 雷	② ひょう	③ みぞれ	④ 曇
(3) 1750			

3 【0.5×10】

① ウ	② イ	③ イ	④ イ
⑤ イ	⑥ ア	⑦ イ	⑧ ア
⑨ イ	⑩ イ		

4 【0.5×4】

(1) ×	(2) ○	(3) ×	(4) ○
----------	----------	----------	----------

パーティ名	学校名	氏名	得点

平成27年度佐賀県高体連登山専門部新人登山大会：自然観察課題 解答用紙

1 【0.5×14】

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫
⑬	⑭		

2 【0.5×12】

(1)	①	②	③	
(2)	①	②	③	④
(4)	①	②	③	④
(3)				

3 【0.5×10】

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩		

4 【0.5×4】

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

パーティ名	学校名	氏名	得点

平成27年度佐賀県高体連登山専門部新人大会 救急課題(解答例)

パーティ名	学校名	氏名	得点

1. 以下の応急処置について、処置者(救助者)が心得ておくべき事項についての記述について、正しいものには○を間違っているものには×を()に書きなさい。

- (×) 応急処置は医師の代わりに行う治療行為である。
- (×) 傷病者(負傷者)は負傷した場所から動かすことなく、その場で、即座に処置を行なう。
- (○) 自力での救助や脱出が難しい場合、速やかに人を集め、協力、あるいは救助を依頼する。
- (○) 緊急性をより要する傷病者(負傷者)から処置をする。
- (×) 持っている医薬品は積極的に使用する。

2. 次の文章は、心肺蘇生法に関する記述である。文中の()に適する語句・数値を下から選べ。

傷病者(負傷者)を発見した場合は、まず(①)を確保し、処置者(救助者)が2次的に負傷等を負うことがないようにして、出血がないかなど全身の観察をする。次に声をかけるなどして(②)の確認をする。(②)がない時はすぐに救助の要請をし、(③)の確保をして(④)の確認をする。(④)の確認は見て聞いて感じ取って、10秒以内で行う。(④)がない場合は直ちに人工呼吸と心臓マッサージを行う。心臓マッサージと人工呼吸の比率は(⑤)である。

ア, 呼吸	イ, 20:1	ウ, 体温	エ, 安全	オ, 30:2
カ, 気道	キ, 15:2	ク, 止血	ケ, 意識	コ, 回復体位

①	②	③	④	⑤
エ	ケ	カ	ア	オ

3. 次の文章は、止血に関する記述である。文中の()に適する語句・数値を下から選べ。

人間の全血液量は体重1kgあたり約(①)mlとされ、一時に全割液量の(②)を失うと生命の危機にあるとされる。

止血には動脈を損傷した場合と静脈が損傷した場合があり、動脈を損傷した場合は心臓の拍動により血液が押し出され、止血が困難である。静脈を損傷した場合は最も清潔な布などで傷口を強く押さえる(③)を用いる。この時は最低でも(④)分間以上行う。鼻出血や深い傷の場合には(⑤)を用いることもある。

ア, 80	イ, 1/3	ウ, 15	エ, 直接圧迫法	オ, タンポン法
カ, 60	キ, 1/5	ク, 5	ケ, 100	コ, 緊縛法

①	②	③	④	⑤
ア	イ	エ	ウ	オ

4. 次の記述について 正しいものには○を間違っているものには×を()に書きなさい。

- (○) ねんざのときは患部を心臓よりも高い位置にする。
- (○) やけどの処置では、水疱はつぶさない。
- (×) 応急処置の原則「RICE」のうち「C」とは冷却のことである。
- (○) 靴擦れで水泡が大きくなっていたら、滅菌した針で水を抜き、消毒、清潔なガーゼを当ててテーピングする。
- (×) 蜂が人を襲うのは近くに蜂の巣があるからであり、場所が分かるまでその場を動かない。

5. 次にあげる医薬品を出しなさい。

体温計	整腸剤・胃腸薬(2人2日分)	三角巾
()	()	()

平成27年度佐賀県高体連登山専門部新人大会 救急課題

パーティ名	学校名	氏名	得点

1. 以下の応急処置について、処置者（救助者）が心得ておくべき事項についての記述について、正しいものには○を間違っているものには×を（ ）に書きなさい。

- () 応急処置は医師の代わりに行う治療行為である。
- () 傷病者（負傷者）は負傷した場所から動かすことなく、その場で、即座に処置を行なう。
- () 自力での救助や脱出が難しい場合、速やかに人を集め、協力、あるいは救助を依頼する。
- () 緊急性をより要する傷病者（負傷者）から処置をする。
- () 持っている医薬品は積極的に使用する。

2. 次の文章は、心肺蘇生法に関する記述である。文中の（ ）に適する語句・数値を下から選べ。

傷病者（負傷者）を発見した場合は、まず（ ① ）を確保し、処置者（救助者）が2次的に負傷等を負うことがないようにして、出血がないかなど全身の観察をする。次に声をかけるなどして（ ② ）の確認をする。（ ② ）がない時はすぐに救助の要請をし、（ ③ ）の確保をして（ ④ ）の確認をする。（ ④ ）の確認は見て聞いて感じ取って、10秒以内で行う。（ ④ ）がない場合は直ちに人工呼吸と心臓マッサージを行う。心臓マッサージと人工呼吸の比率は（ ⑤ ）である。

ア, 呼吸	イ, 20:1	ウ, 体温	エ, 安全	オ, 30:2
カ, 気道	キ, 15:2	ク, 止血	ケ, 意識	コ, 回復体位

①	②	③	④	⑤

3. 次の文章は、止血に関する記述である。文中の（ ）に適する語句・数値を下から選べ。

人間の全血液量は体重1kgあたり約（ ① ）mlとされ、一時に全割液量の（ ② ）を失うと生命の危機にあるとされる。

止血には動脈を損傷した場合と静脈が損傷した場合があり、動脈を損傷した場合は心臓の拍動により血液が押し出され、止血が困難である。静脈を損傷した場合は最も清潔な布などで傷口を強く押さえる（ ③ ）を用いる。この時は最低でも（ ④ ）分間以上行う。鼻出血や深い傷の場合には（ ⑤ ）を用いることもある。

ア, 80	イ, 1/3	ウ, 15	エ, 直接圧迫法	オ, タンポン法
カ, 60	キ, 1/5	ク, 5	ケ, 100	コ, 緊縛法

①	②	③	④	⑤

4. 次の記述について 正しいものには○を間違っているものには×を（ ）に書きなさい。

- () ねんざのときは患部を心臓よりも高い位置にする。
- () やけどの処置では、水疱はつぶさない。
- () 応急処置の原則「RICE」のうち「C」とは冷却のことである。
- () 靴擦れで水泡が大きくなっていたら、滅菌した針で水を抜き、消毒、清潔なガーゼを当ててテーピングする。
- () 蜂が人を襲うのは近くに蜂の巣があるからであり、場所が分かるまでその場を動かさない。

5. 次にあげる医薬品を出しなさい。

体温計	整腸剤・胃腸薬（2人2日分）	三角巾
()	()	()

